



初めての投資家様へ

～トリシマを知っていただくために～



トリシマは、1919年創業のポンプ専門メーカー。

創業当時のポンプにかける情熱と技術はしっかりと受け継ぎながら、時代に合わせて進化を続け、「社会に欠かせない企業」をめざします。

社是

金銭の赤字は出しても、信用の赤字は出さな

経営理念

私たちはポンプを愛し、
世界によりよい変化を生み出すために、進化し続けます。

パーパス

ポンプの力で、水と暮らしと命をつなぎ、
サステナブルな社会を実現する。

行動指針

TEAMWORK
DIVERSITY
PROFESSIONAL
CLARITY
ENTHUSIASM
INNOVATION
EVOLUTION

事業内容

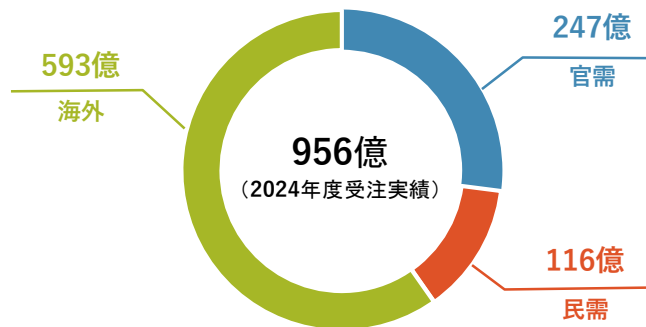
トリシマポンプの活躍の場は？

ポンプは、**社会の心臓**

表からは見えないところで「当たり前暮らし」を支えています。

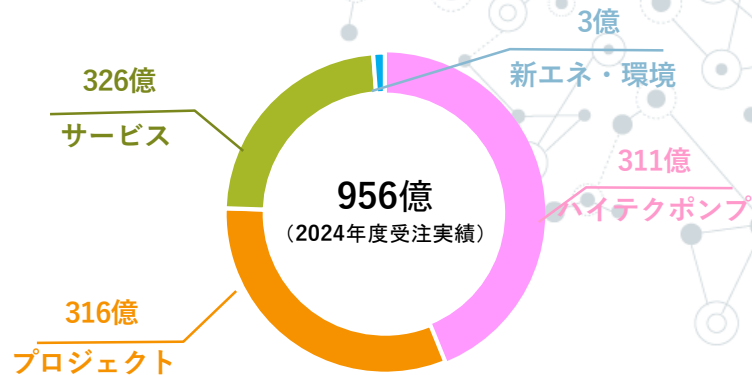


需要先



官需	国及び地方自治体向けの上下水道施設、排水施設、かんがい施設など向けEPC事業（設計、調達、建設・試運転）
民需	- 国内の発電所（火力・バイオマス・地熱） - 一般産業の各種工場、ビル設備、商業施設など
海外	海外向け海水淡水化プラント、火力発電所、上下水道施設及びかんがい施設など

事業領域



	国内	海外
ハイテクポンプ	- 発電所（火力・バイオマス・地熱）向け大型・高圧ポンプ - 一般産業の各種工場、ビル設備、商業施設など向け標準ポンプ（エコポンプ）	海水淡水化プラントや上下水道施設、発電所、かんがい施設向け大型・高圧ポンプ
プロジェクト	国及び地方自治体向けの上下水道施設、排水施設、かんがい施設など向けEPC業務（＝需要先別の官需）	機械・電気のエンジニアリング及び工事を含めたポンプに関連するプラントの請負事業（EPC業務）
サービス	ポンプのオーバーホールをはじめ、部品交換や予備機、省エネ提案など	
新エネ・環境	風力発電設備のメンテナンス	—

創業時から「技術のトリシマ」の礎を築き、国内大手3社の一角へ成長



1919年
ポンプのエンジニア
竹尾秋助氏らによって、
大阪市西区（現此花区）
西島（とりしま）町で創業



1927年
農業用ポンプで全国一位に
認定されるなど「技術のトリシマ」の礎を築く。しかしその後、戦中戦後の混乱で経営は低迷



百万円
60,000

売上高の推移

■日本 ■海外

50,000

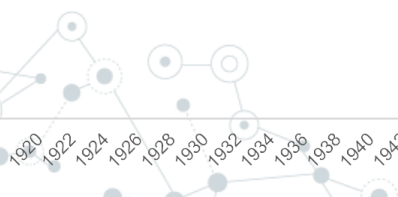
40,000

30,000

20,000

10,000

0

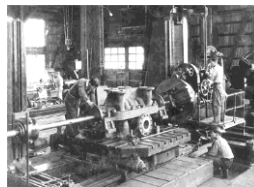


1949年
元銀行マンの原田龍平氏が
入社。「ポンプの仕事は今
後必ず大きくなる」との信
念と情熱で経営再建。トリ
シマを100年企業とした中
興の祖。



1958年
国際化に伴い世界的ポン
プメーカーと技術提携

日本の発展とともに事業拡大



1952年 発電所の大型高圧
化に伴いボイラ給水ポン
プも高圧化



1955年 東洋最大規模の
排水機場向け大型ポンプを
受注、農林水産省より表彰

1975年～
中東の海水淡水化プラントをはじめ、
海外プラント向けポンプの受注拡大



海水淡水化プラント / サウジアラビア



化学コンピナート納入 / クウェート



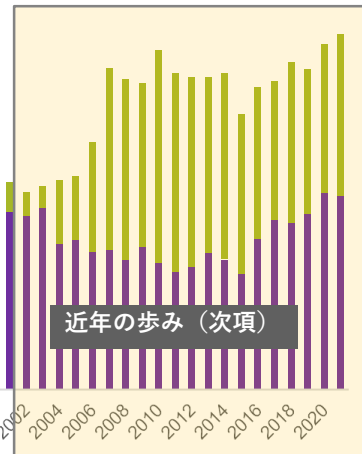
1985年 インドネシアに
海外初の製造工場を設立



1978年 海外初の拠点を
シンガポールに設立



1981年
東証一部上場



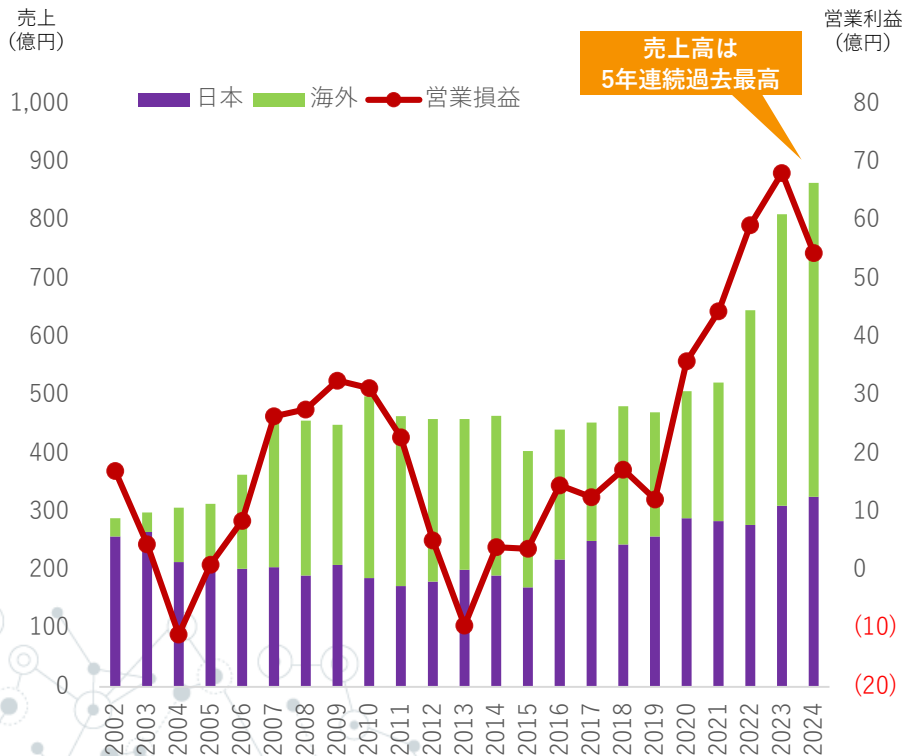
近年20年間の歩み（グローバル化に伴う混乱と企業体質強化）

TGT
発足

海外急拡大

生産・設計
混乱

モノづくり基盤
の再構築



2002年 TGT（トリシマグローバルチーム）発足

2000年代に入った頃から財政再建により公共事業が縮小。また、日本の人口がピークアウトに向かったことから、「このまま日本にとどまっていたら成長はない」とトリシマグローバルチーム（TGT）を立ち上げ、外国人スタッフも加わって海外展開を本格化

追い風に乗って海外売上が急拡大

原油価格の高騰もあり中東諸国の海水淡水化市場が活性化するなか、トリシマが強みとする海水淡水化プラント向けポンプをはじめ、送水プラントをEPCで受注するなど、急激に拡大。TGT発足当時10%程度だった海外比率は、一気に50%台へ。

急成長に伴い設計、生産が混乱、利益率が低下

ところが急激な成長に体制が追いつかず、設計や生産が混乱。世界さまざまな国の顧客要求に迅速、柔軟に対応できずミスも起こり、原価や引当金が増加。1ドル100円を割る超円高（2009年～2013年頃）も重なり、受注はするものの利益を残せず、さらに受注が続く中で混乱という悪循環に。

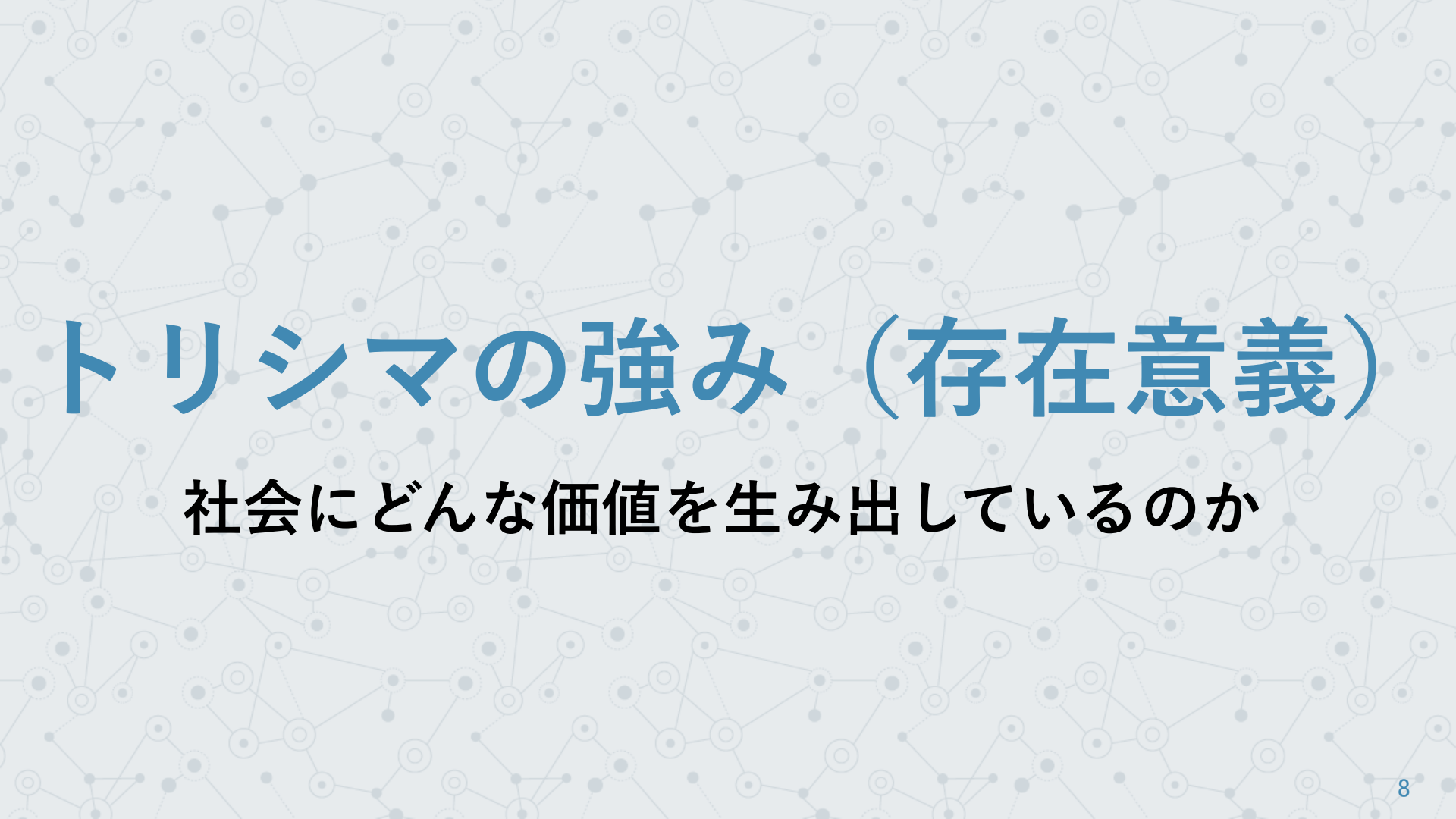
2012年 モノづくり基盤の再構築 （抜本的な改革を推進）

真のグローバル企業としてさらなる成長を遂げるためには、「一時的に受注を制限してでも、モノづくり基盤を再構築する必要がある」と決断。一気通貫システムやBOMの導入、製品の標準化、設計・生産の効率化、受注時採算管理の徹底など、企業体制の強化に乗り出した。

サービス事業の拡大

同時に、新規ポンプに比べ、利益率の高いサービス事業に注力。アジア、中東、欧州、米国と拠点を広げ、TGT発足当時は10%だったサービス比率を30%台まで拡大。

取組みが奏功し、企業体質が強化



トリシマの強み（存在意義）

社会にどんな価値を生み出しているのか

トリシマの強み：100年の歴史で培った高い技術力

① 大型・高圧ポンプを製造できる世界でも数少ないポンプメーカー

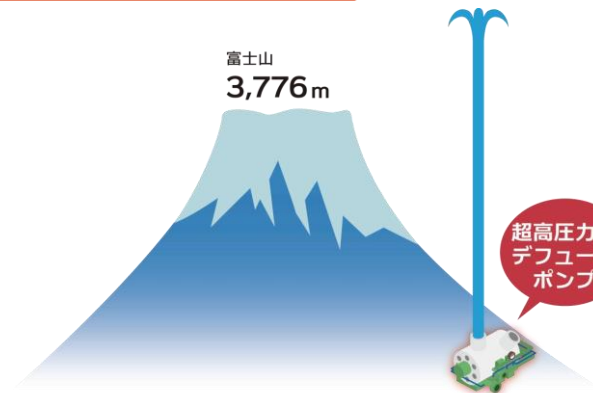
トリシマが得意とするポンプは、上下水道施設や発電所などで使われる**大型・高圧ポンプ**です。
たとえば、「**ものすごい大量の水を送るポンプ**」では、**25メートルのプールを5秒で空**にできるほどの威力。また「**ものすごい圧力のポンプ**」は、**4,200mの高さ**まで水を上げられますし、「**ものすごく過酷な環境で運転できるポンプ**」は、**350度以上となる超臨界圧**でも運転可能です。
世の中にポンプメーカー数あれど、こんな「ものすごいポンプ」を製造できるのは、世界でも数えるほどしかありません。
トリシマはその一社として、世界100ヶ国以上に数多くのポンプを納入してきました。



25mのプールを
5秒で空にできます！

富士山より高く、水を上げられます！

人間がこの大きさ！



350°C以上の高温となる
超臨界圧でも運転できます！

超高圧力の
デフューザ
ポンプ



トリシマの強み：100年の歴史で培った高い技術力

② ポンプの高効率化を追求し、消費電力とCO2を削減

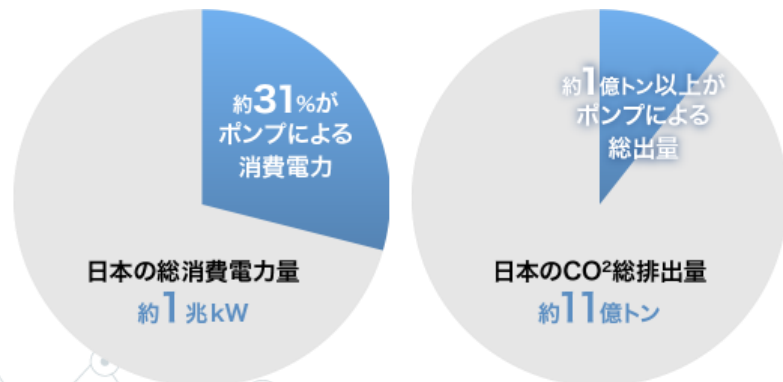
このような産業プラントで使われるポンプは消費電力も非常に大きく、日本の総電力量の約3割を占めています。今でこそ、車でも家電でも省エネタイプが好まれますが、ポンプの世界ではずっと前からいかに**ポンプを高効率化（省エネ化）するかが技術力の勝負**でした。

0.1%でもポンプ効率をあげることで、数百万、数千万円の電力費削減につながるからです。

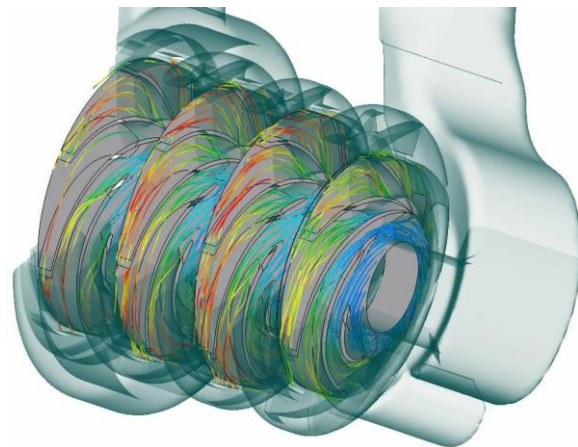
トリシマは、**最新のCFD（流体解析）を駆使して、水がポンプの中をエネルギーロスなく流れるようデザインし、ポンプの高効率化を追求**。プラント全体の**消費電力とCO2の削減**に貢献しています。

ポンプ＝消費電力の高い機械。
つまり、「省エネの余地」も大きい。

最新鋭の流体解析を駆使して、水の流れを最適化



・Enerdata「グローバルエネルギー統計イヤーブック2018」
・一般財団法人省エネルギーセンター「平成26年度エネルギー使用合理化促進基盤整備事業(産業用機器等に関する使用実態及び制度調査)報告書」



トリシマの強み：100年の歴史で培った高い技術力

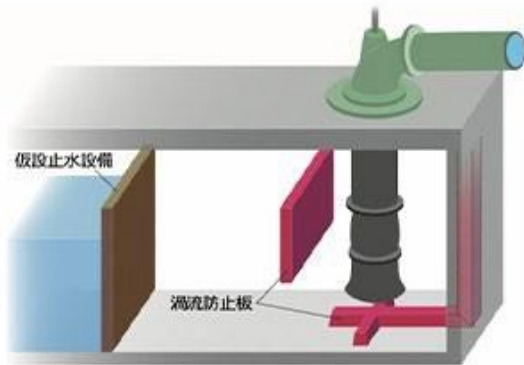
③ 気候変動対策向けポンプで、防災・減災に貢献

近年、頻発するゲリラ豪雨への対策として、排水機場では排水容量を増やすニーズが増加しています。ところが、既存水槽の寸法がそのままでは水槽内の流速が速くなり、ポンプに悪影響を及ぼす水中渦や空気吸込渦が発生します。その渦を防止するため、従来は水槽内に土木構造物である渦流防止板を設置する必要がありましたが、設置には多額の工事費と日数がかかります。

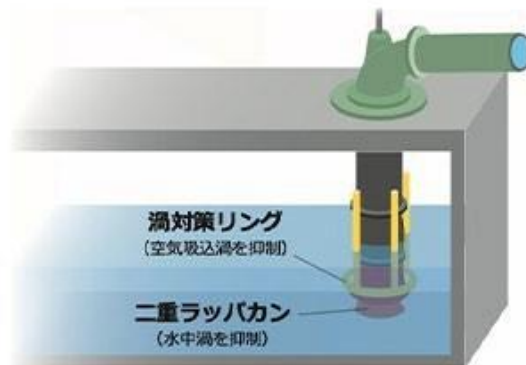
トリシマは、これらの渦の発生をポンプ本体で抑制することにより、渦流防止板を不要とし、工事費の削減、工事安全性の確保および工事日数とポンプ不稼働期間の短縮を実現しました。

また、ポンプが水没しても運転可能なように、ポンプとモータを一体化した「耐水モーター一体型ポンプ」でも防災、減災に貢献しています。

従来の渦対策



トリシマ独自の
ポンプ本体による渦対策



動画をご覧ください



トリシマの強み：100年の歴史で培った高い技術力

④ 海水淡水化向けポンプでグローバルニッチトップ（GNT）企業に

日本は幸運にも水に恵まれています。世界には深刻な水不足に悩む国が多くあります。そこでは、海の水を真水に変える海水淡水化プラントが重要なインフラです。トリシマは**1970年代から中東諸国を中心に、世界中の海水淡水化プラントへポンプを納入**。世界でも高いシェアを誇り、**グローバルニッチトップ企業（GNT）**にも認定されています。今も約20億人が安全に管理された水を飲むことができないという現実を考えると、海水淡水化プラントの必要性はますます高まっていくと見込まれます。

造水量世界トップ20の海水淡水化プラントのほとんどにポンプを納入

	プラント	国	トリシマ ポンプ	納入年
1	Jubail 2 Replacement	サウジアラビア	✓	2022
2	Taweelah	UAE	✓	2019
3	Shoaiba 3	サウジアラビア	✓	2005
4	Al Jubail	サウジアラビア	✓	2007
5	Ras Al-Khair	サウジアラビア	✓	2010
6	Umm al Quwain	UAE	✓	2019
7	Soreq 2	イスラエル		2020
8	Jebel Ali M Station	UAE	✓	2007
9	Khobar 2 Replacement	サウジアラビア	✓	2019
10	Soreq	イスラエル		2010
11	Shoaiba 3 IWPP Conversion	サウジアラビア	✓	2022
12	Rabigh 3	サウジアラビア	✓	2019
13	Jubail 3a	サウジアラビア	✓	2020
14	Shoaiba 5	サウジアラビア		2020
15	Jubail 3b IWP	サウジアラビア	✓	2021
16	Yanbu 3	サウジアラビア	✓	2012
17	Magtaa	アルジェリア	✓	2009
18	Az-Zour North	クウェート	✓	2014
19	Al Jubail Phase 2	サウジアラビア	✓	1979
20	Shuweihat 2	UAE	✓	2009

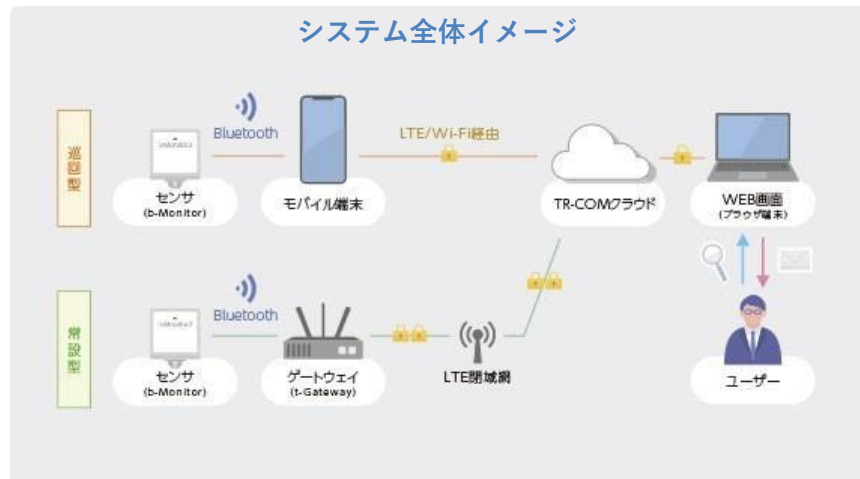
大型プラントが集中する中東諸国以外でも、
世界中の海水淡水化プラントで実績あり



トリシマの強み：100年の歴史で培った高い技術力

⑤ 独自の回転機械モニタリングシステムで、スマートメンテナンスの促進に貢献

少子高齢化による人手不足や技術の継承問題を受けて、製造業の現場では、IoTやAIを活用したスマートメンテナンスが推進されています。トリシマは、ポンプメーカーとしての技術と経験を活かして、独自の回転機械モニタリングシステム [TR-COM](#) を開発。10,000Hzまでの高周波を測定することで従来は難しかった「故障予知」を可能とし、故障原因の分析やメンテナンスのアドバイス、ポンプの修理まで、ポンプのプロだからこそできるソリューションを提供。2022年には、経済産業省が推奨する「スマート保安技術」に認定され、2023年に防爆仕様を発売。2024年には第7回「インフラメンテナンス大賞」において農林水産省 特別賞を受賞しました。



三菱地所株式会社による

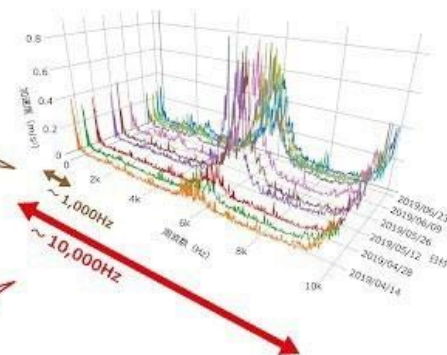
「**Society5.0実現に向けた次世代型施設運営モデル**」の中でも、

IoTを活用した設備点検としてトリシマのTR-COMが採用されました！

[三菱地所公式サイトへ](#)

回転機械の異常を早期に発見できる

例えば、軸受の初期傷



10,000分の1の振動を「見る」ことで
高度な分析が可能に！

トリシマのマテリアリティ（重要課題）

今後も引き続き、トリシマが得意とする分野での課題解決に貢献し、社会に欠かせない企業をめざします

世界の潮流と社会課題

トリシマのマテリアリティ
（重要課題）

社会に貢献できる
製品・サービス

めざす姿

社会に欠かせない企業

CO2の増加による
地球温暖化

エネルギーの転換

異常気象の増加・
水害の頻発

先進国での
インフラ老朽化

新興国での人口増加、
インフラ需要の拡大

水不足・食料不足

先進国での人口減少・
技術伝承の困難

価値創造の重要課題

1. 脱炭素社会実現に向けた
エネルギー課題への取組み

2. 安全・安心な社会の構築

3. データ・AIの活用による
新しいモノづくりとサービスの構築



基盤となる重要課題

4. 社員活力の最大化
5. ガバナンスの向上
6. トリシマ品質の継続的向上

① スーパーエコポンプによる省エネ推進

② 次世代エネルギー用ポンプの提供

③ 水不足・食料不足を解決する
ポンプの提供

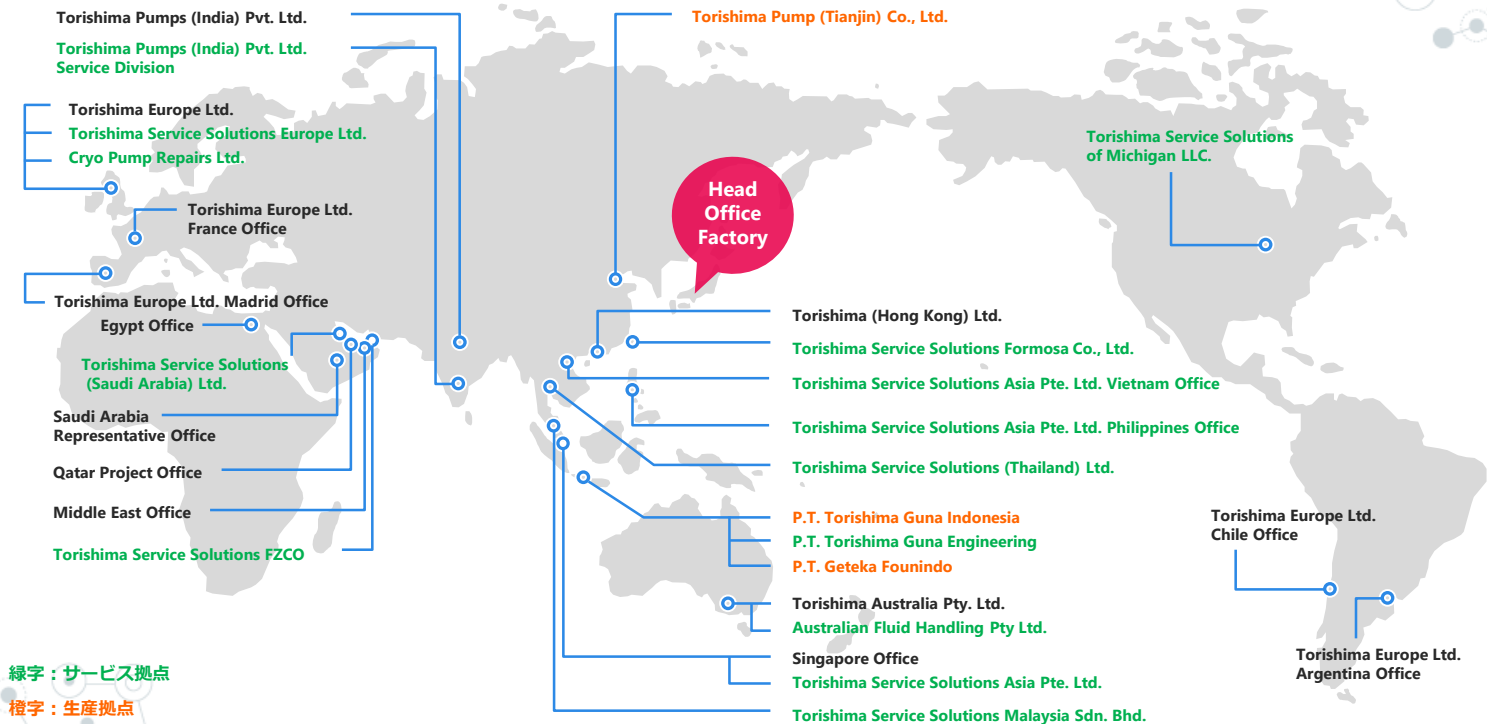
④ 気候変動対策向けポンプによる
減災技術の推進

⑤ データに基づく
スマートメンテナンスの提供

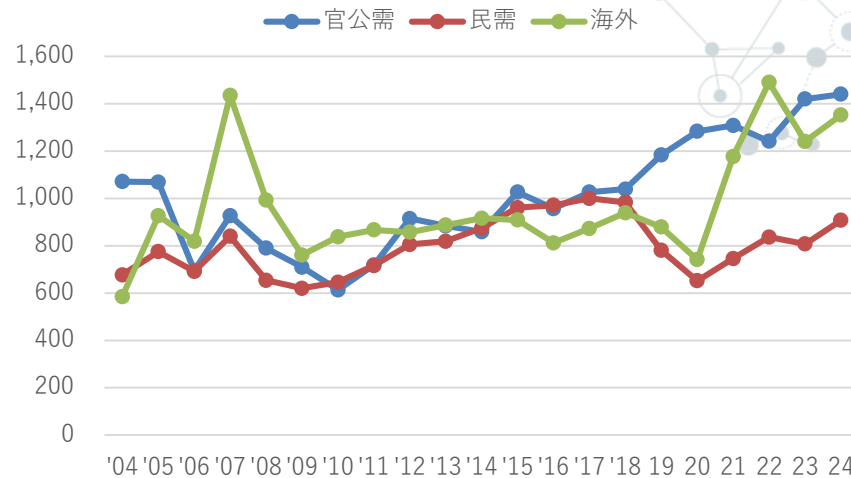
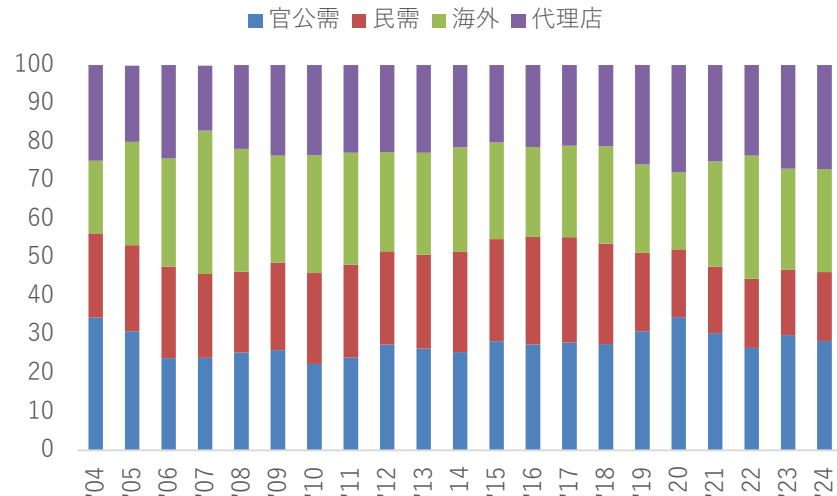
- ・ 人材育成とDE&Iの推進
- ・ コンプライアンス経営の推進
- ・ リスクマネジメントの強化
- ・ 環境経営の推進

Global Network

世界22カ国、31拠点。 35カ国の国籍の人たちが働くネットワーク



日本のポンプ市場の受注推移



	'04	'05	'06	'07	'08	'09	'10	'11	'12	'13	'14	'15	'16	'17	'18	19	20	21	22	23	24	前年比
官公需	1,071	1,069	695	927	790	709	613	718	915	884	859	1,026	957	1,026	1,039	1,183	1,283	1,308	1,241	1,420	1,440	101.4%
民需	677	775	692	840	654	620	646	716	805	819	874	961	971	1,000	983	781	652	746	836	807	907	112.7%
海外	585	927	819	1,435	993	761	838	867	857	887	916	909	812	873	939	879	741	1,177	1,490	1,241	1,352	108.8%
代理店	770	685	703	653	676	643	641	677	755	762	715	730	738	771	793	988	1,036	1,075	1,163	1,273	1,366	107.6%
合計	3,105	3,457	2,910	3,856	3,115	2,735	2,739	2,981	3,333	3,354	3,364	3,626	3,479	3,670	3,764	3,832	3,712	4,306	4,662	4,740	5,065	107.0%

本資料は2025年6月に作成したものです。随時、必要に応じて
情報更新、または、よりよくアップデートしていく予定です。

ご質問等ありましたら、以下の連絡先までお問合せください。

Contact Us



株式会社西島製作所 総務部
コーポレートブランディング課



072-695-0551



<https://www.torishima.co.jp/>



ir-torishima@torishima.co.jp

